

平成25年9月22日
今週のベストショット



青松園A ブルーマーリンズ 対 レッドサンデーズ戦

7点差をひっくり返す原動力となった御年70歳のレッドサンデーズ田浦政信選手。

ウイニングボールもライトの田浦選手へ、まさに勝利を掴み取った！

写真：奈多サンデーズ 鳥羽晃弘

青松園A ベテラン勢の活躍でレッドサンデーズ大逆転勝利！！

ブルーマーリンズ（1勝8敗0分）34300 10 網脇●-中村

レッドサンデーズ（3勝4敗1分）0408X 12 嶋村○-前田

3BH：田浦（レッド） 2BH：末松、尾田2、糸井（ブルー） 稲又（レッド）

両チームともに監督を含め10名と苦しいチーム事情の中で始まった試合は初回、ブルーマーリンズはレッドサンデーズ先発嶋村投手の立ち上がりを攻め、三・四番のタイムリーで幸先よく3点を先制すると、二回にも上位打線の連続タイムリーなどで4点を追加し、7点をリードする。追うレッドは二回裏、連続四球でチャンスを作ると内野ゴロと和白リーグ現役最年長の八番田浦選手（70歳）のライト前タイムリーなどで4点を返す。Bマーリンズは三回表、またも上位打線が爆発し4点を追加、10-4と6点のセーフティーリードと思われた。しかし粘るレッドは四回裏に、二回同様連続四球で満塁のチャンスをつくり、またも田浦選手の走者一掃、タイムリー三塁打で逆転に成功すると、終盤立ち直った嶋村投手が最終回を締めて逆転勝ちを収めた。Bマーリンズは、クリーンアップ3人で8安打を放ち、チームも14安打10得点を奪ったが、先発網脇投手の13四死球の乱調が痛かった。レッドサンデーズの大ベテラン田浦選手は3打席2打数2安打4打点3得点1四球の大活躍でした！！（記事、写真：奈多サンデーズ 鳥羽晃弘）



1 4 安打されるも最後まで投げ切ったレッド嶋村投手。



勝利まであと一歩だったブルーマーリンズ綱脇投手。



4 打数 4 安打 2 二塁打の大活躍 B マーリンズ三番尾田選手。



好走塁で得点を挙げる B マーリンズ中村選手。



二回裏、反撃の狼煙を挙げるレッド田浦選手のタイムリー。



3 打席 2 打数 2 安打 4 打点 3 得点 1 四球の大活躍の田浦選手。

雁レクE 白熱の投手戦。互いに譲らずスコアレスドロー！

雁ノ巣ライナーズ（5勝2敗2分）000000 0 鳥越一明瀬

奈多フェニックス（6勝1敗2分）000000 0 池見一西藤

2BH：高原（奈多フ） 盗塁：明瀬（雁ノ巣） 高原2（奈多フ）

先攻のライナーズは初回、先頭の中口選手の打球がフェニックス池見投手のエラーを誘い幸先よく出塁。二番池内選手が送りバントを決め得点圏へランナーを進めるが、後続が倒れ先制のチャンスを逸してしまう。その裏、フェニックスも二番高原選手が二塁打で出塁。WPで一死三塁のチャンスを得るも後続が打ち取られ、初回の攻防はお互いに無得点に終る。三回表、ライナーズは先頭の八番鳥越選手が相手エラーで出塁。その後二死となるも、二番池内選手の打球がしぶとく内野を抜け、二死一二塁のチャンス。強打の三番久保田選手に打席が回った

が、ここはフェニックス池見投手がショートゴロに打ち取り得点を許さない。さらにライナーズは、続く四回表も二死から六番明瀬旭選手がヒットで出塁し、すかさず二盗を決め得点圏にランナーを進めるも、七番有馬選手はギアを上げた池見投手の前に三振を喫し、再び先制機を逃してしまう。一方のフェニックスは、四回、五回と先頭打者が出塁するも、ライナーズ鳥越投手の粘投と守備陣の前に得点を奪えないまま。六回表ライナーズの攻撃が三者凡退に終り、負けの無くなったフェニックスは、先頭の二番高原選手が四球を選び出塁。一死後にこの日二つ目の盗塁を決めチャンスを広げる。二死後ライナーズのバッテリーエラーで三塁に進み、バッターボックスには五番今林（英）選手。フェニックスベンチに一気にサヨナラ勝ちの気運が高まった。しかし、今林選手の放った打球は伸びを欠き、センター中口選手のグラブに収まりゲームセット。両チーム合わせてヒットはたったの4本という息詰る投手戦は、0-0という滅多に見られない結果で幕を閉じた。

(写真、記事：三苦三球会 中村 元)



後半疲れたが粘りの完投、ライナーズ鳥越投手。



逆に中盤からエンジンが掛かった、フェニックス池見投手。



一回表、打球が手に付かなく先頭打者の出塁を許す。



一回裏、フェニックス二番高原選手が二塁打を放つ。



一回裏、ワイルドピッチで三塁へ進み、先制のチャンス！



三回表、ライナーズ先頭の鳥越選手がエラーを誘い出塁。



四回表、ライナーズ明瀬選手が内野安打で出塁も得点できず。



四回裏、フェニックス先頭の高原選手がレフト前ヒット！



高原選手の盗塁が決まり、得点圏にランナーが！



五回裏、強い打球を見事に捌くライナーズ国崎三塁手。



最終回、高原選手が2つ目の盗塁を決めチャンスを広げる。



ワイルドピッチで二死三塁とサヨナラのチャンス到来！



大ピンチに、ライナーズ池内二塁手がマウンドの鳥越投手に笑顔で声を掛ける。



決着は付くのか！？ 2人の視線の先はバッテリーボックスの今林選手へ。



フェニックス今林選手の打球は！？



ライナーズ中口選手がキャッチしてゲームセット！

奈多グランド 安定したピッチングの奈多クラブ今林瑠生投手がソルト打線を完封！

奈多クラブ (6勝1敗3分) 1 0 1 3 0 4 9 今林(瑠)○ー今林(卓)
 ソルトベイスターズ (2勝6敗1分) 0 0 0 0 0 0 0 鶴野●、中村(耕)ー田中(修)
 3BH: 今林(賢)(奈) 2BH: 鶴野(ソ)、今林(瑠)、安部(慶)、今林(卓)(奈)

先発はソルトベイスターズ鶴野投手、奈多クラブ今林(瑠)投手で試合は始まった。初回、奈多クラブは先頭の今林(賢)選手がセンター前ヒットで出塁すると続く今林(瑠)選手がレフト前ヒットを放つ。そして三番今林(祐)選手の時にPBで1点を先制。一方、Sベイスターズは俊足の八柄選手は三振に倒れるが、二番酒井選手がレフト前ヒットを放つ。しかし後続が倒れ点を入れることができなかった。三回表奈多クラブは二番今林(瑠)選手がレフトオーバー二塁打を放つと三番今林(祐)選手の三塁ゴロを三塁手が悪送球し1点を追加する。同点に追いつきたいSベイスターズは今林(瑠)投手を攻めきれず得点することができない。四回表奈多クラブは、先頭砂場選手がレフト前ヒットを放ち、八番安部(慶)選手がライト横に打球を運び、無死二三塁とする。ここで一番今林(賢)選手が右中間に三塁打を放ち2点を追加した。その後相手エラーもあって、この回3点を入れる。これ以上離されたくないSベイスターズはその裏、五番鶴野選手が二塁打を放つが後が続かず得点することができなかった。そして六回表Sベイスターズは、鶴野投手から中村(耕)投手にピッチャーを交代。代わった中村(耕)投手は球が定まらず連続四球を与える。そして奈多クラブ今林(瑠)選手、今林(祐)選手、今林(卓)選手、安河内選手が四連続タイムリーを放ち更に4点を追加した。何とかしたいSベイスターズは六回裏中村(耕)選手がライト前ヒットを放つも後が倒れそのままゲームセットとなった。奈多クラブ今林(瑠)投手の安定したピッチングと、ここぞという時に打線が繋がった奈多クラブ打線が印象的だった。また、ソルトベイスターズの一二番コンビが塁を掻き回すとしたら面白い試合展開になっただろうなと感じた試合だった。(記事、写真: 三友クラブ 駄原孝一郎)



ソルトベイスターズ先発の鶴野投手。



完封勝利を挙げた奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



一回裏レフト前ヒットを放つSベ이스ターズ酒井選手。



二回表、センター前ヒットを放つ奈多クラブ吉田選手。



三回表三塁ゴロをさばくSベ이스ターズ八柄選手。



三回裏、ファウルで粘るSベ이스ターズ森(哲)選手。



四回表、ライト横へ二塁打を放つ奈多クラブ安部(慶)選手。



四回表、三塁に滑りこむ奈多クラブ今林賢人選手。



四回裏、三塁横を抜ける二塁打を放つ鶴野選手。



五回表、ダブルプレー成功のSベ이스ターズ内野陣。



六回から登板したSベ이스ターズ中村耕一郎投手。



六回表、レフト前を放つ奈多クラブ三番今林祐将選手。



六回表、右中間を破る二塁打の四番今林卓也選手。



六回表、レフト前ヒットの五番安河内選手。

青松園B フレンズの隙を逃さなかったジャガーズの勝利！

塩浜ジャガーズ（3勝4敗3分）001230 6 内田○、立石一堀内
 三苦フレンズ（1勝8敗0分）100100 2 山口●一佐藤、場先

2BH：道喜（塩浜ジ） 盗塁：田中（塩浜ジ）、生野、山口（三苦フ）

一回表をピシヤリと三人で抑えたフレンズはその裏、先頭の生野選手が四球を選び、すかさず自慢の足で二塁に進むと、三番佐藤選手の打球を処理している隙にホームに生還し先制点を奪う。しかし、二回裏の攻撃では出塁はするものの、チャンスを生かすことができなかった。すると三回表ジャガーズは、この回先頭の稗田選手がこの試合チーム初ヒットで出塁すると、二番道喜選手がきっちり返し同点に追いついた。その後は、フレンズ守備のミスにも助けられ、着実にチャンスをモノにしたジャガーズに軍配が上がった。

（写真、記事：三苦ホーネッツ 洲上祥太）



一回裏、先制のホームイン！フレンズ生野選手。



一人で投げぬいたフレンズ山口投手。



同点のホームイン、ジャガーズ稗田選手。



四回裏、反撃なるか！フレンズ山口選手の気迫のこもったヘッドスライディング



五回表、ジャガーズ堀内選手の試合を決定づけるタイムリー。



熱闘の後、試合後は笑顔であいさつ！

第18週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第18週、9月22日は4試合が行われました。

青松園Aのブルーマーリンズ対レッドサンデーズ戦は、Bマーリンズが一時7点差をつけ2勝目を期待されましたが、赤い壁が立ち塞がりました。レッドベテラン下位打線が活躍！中でも70歳の田浦選手の今季初安打を含む活躍が目を引き、14安打で10得点のBマーリンズに5安打12得点のレッドが勝ちました。一方Bマーリンズも一番末松選手3安打、三番小田選手4安打、四番糸井選手3安打と打撃は好調です。

雁レクEの雁ノ巣ライナース対奈多フェニックス戦は、どちらも優勝争いのために負けられない意地がぶつかり合い、近年まれにみる投手戦は両チーム決め手を欠き0-0のスコアレスドロー。どちらも2安打同士でした。それにしても三球会中村氏の一眼レフの写真はきれいですね。ピントのあっている選手と周囲のぼかし感が絶妙な上に、連射を使っているからバッチリなタイミングを逃さないのだそうです。選手のいい表情も抑えています。さすが昨年のベストショット大賞受賞者！撮られる方もよりきれいに写してほしいですね。

奈多グラウンドの奈多クラブ対ソルトベスターズ戦は、奈多クラブ今林瑠生投手が9奪三振を奪い、被安打3。打ってもソルトベスターズの二人の左腕から12安打を放ち、9-0の完封勝利。写真からの感想ですが、奈多クラブの各バッターはしっかり踏み込んで自分のスイングをしているのに対し、ソルトベスターズの各バッターは詰まっている印象を受けます。奈多クラブ三番今林祐将選手は、野手の守備位置を見て狙い打っている

そうです。高いレベルのバッティングセンスにも注目です。

青松園Bの塩浜ジャガーズ対三苦フレンズ戦は、フレンズが幸先よくノーヒットで先制するものの四回表の3連続エラーや五回表の3連続死球がごとく点に結びつき、ジャガーズに6-2の逆転負け。ジャガーズは先週揃って抜けていた内田・立石両名がスタメンに名を連ね勝利を収めた。この試合ジャガーズ水流（つる）監督の息子・瑞樹選手も代打で出場したが、あえなく三振。早く和白リーグ初安打が欲しいところ。今後注目していこうと思います。

プロ野球は、セ・リーグは巨人、パ・リーグは楽天がリーグ制覇しました。残りはクライマックスシリーズに向けて、2・3位争いが激しくなりそうです。

WSLもいよいよ終盤戦に入り、一投一打により一層熱が入ってきます。

チーム順位が一つでも上がるように、個人の成績が少しでも上がるように、皆さんコソ練に勤しんでください。